

まえばし

9月1日

昭和47年(1972年)

507号

発行・前橋市役所／編集・総務部秘書課／毎月1日・15日／昭和35年7月14日第3種郵便物認可(1部9円)

表紙の写真

赤城の澄んだ空気のなかで小鳥のさえずりにかこまれながら、都会では失なわれた自然の生活を味わおう——と、赤城林間学校キャンプ場が開設されたのは、四十三年七月のこと。水櫃と白樺の林の中、管理棟、炊事場、便所、水道などが備えられ、夜はキャンプファイアーをかねて、若い人たちの歌声がこだましていました。



とじて保存しておいてください いつかまた お役にたつことと思います



赤城地蔵岳ロープウェイから大沼をのぞむ。



木の間がくれに大沼の湖面が見える林間学校の庭で、朝の体操をする子どもたち。新鮮な山の空気を胸いっぱい吸って……。ことしの夏も、多くの子どもたちに利用された、赤城にある唯一の市立の施設です。

まえばしの裏庭 赤城

大洞湖畔、白樺と水櫃の林の中に設けられた市立赤城林間学校・青少年キャンプ場は、夏、多くの子どもたち、若者たちに利用されました。



赤城の白樺林

春は新緑とれんげつつじ、夏は避暑と登山、キャンプやボート遊び、秋は全山の紅葉とキノコ狩り冬はスキー・スケート、わかさぎ釣りの赤城……。前橋駅からバスで一時間足らず、海拔一、

八二八メートルの赤城山は、前橋が登山口です。駅前からバスで二十分で赤城大島居、ここから二十一キロが有料道路。登りつめたところが、れんげつつじの名所新坂平。そこから大洞にくだる道すじには、白樺の純林帯と木の間がくれの青い湖面が印象的です。にぎやかな湖畔へおる手前、水櫃と白樺の木々の間を左に折れると、前橋市立赤城林間学校の白い建て物が見えます。真夏の平均気温が二二・五度という赤城湖畔に、この林間学校が開設されたのは昭和三十六年十月のこと。以来併設の青少年キャンプ場と合わせて、市内の子どもの校外学習生活指導の場として、社会教育団体などの教育活動の場として、大いに利用されてきています。市内の子どもたちは、皆だれでも、林間学校での楽しい思い出を、ひとつずつ持っています。

——さて、いよいよ、きょうから九月。大沼の水面がルリ色を増すと、夏と訣別した赤城の秋は、急速に深まってきます。紅葉は山頂と沼から十月なかばに始まり、十一月上旬には白樺ラインの沿線が鮮やかに染まっていきます。「啄木鳥」や落葉をいそぐ牧の木々、水原秋桜子の句碑が、林間にひっそりとした影を浮べます……。

朝な夕な市内のどこからでも眺められる赤城山。市民のだれもが「自分の家から見る赤城が一番いい」といいます。赤城の姿は、前橋市内のどこからの眺めにも、興味をそそぎません。わたしたち前橋市民にとって、赤城山は、すでに裏庭のように親しく、近く、「前橋点景」のひとつとして、密着したところとなっているようです。

前橋点景



⑧

9月15日
敬老の日

九月十五日は「敬老の日」です。いうまでもなく、この祝日は多年にわたって社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝うとともに、かく孤独でみじめな生活に陥りやすい老人の生活を、明るく豊かなものにするため、すべての人が老人福祉についての関心と理解を深め、平和な家庭、明るい社会をつくり、また老人自身も時代とともに生きる意欲を盛り上げようとするものです。

老人福祉法には「老人は多年にわたり社会の進展に寄与してきたものとして敬愛され、かつ、健全で安らかな生活を保障されるものとす」とうたわれています。

しかし、現実には、めざましい生活をしている人がたくさんいます。たとえば、全国には約二十万人の寝たきり老人がいるといわれています。こうした人たちが、一日も早く元気になり、明るい生活ができるように——というのが、老人福祉法の主旨にそった、みんなのねがいのひとつです。

市では、この「敬老の日」の行事のひとつとして、ことしも七十五歳以上の人に記念品を、また、九十歳以上の人には長寿の祝品を贈ります。

そのほか、関係団体の協力と奉仕による「敬老鍼(はり)マッサージ」のサービスや「写真の無料贈呈」サービスが行なわれます。おとしりが余生を楽しく暮らせるよう、みなさんであたたくいたわらしましょう。

市で長寿を祝い
記念品・祝品を贈呈

(75歳以上) (90歳以上)

市内最高齢者は
桜井・大野さんの百歳



大野さん 桜井さん

市内の最高齢者は桜井豊野(下小出町)大野又一(朝倉町)さんの二人です。

桜井さんは明治五年一月生まれ、大野さんは明治五年三月生まれ、次が明治六年十二月生まれの山田イチ子(総社町植野)の九十八歳、天田新五郎(文京町一丁目)彦坂もとさん(本町三丁目)が九十七歳と続きます。以下、本市には九十歳以上のお年寄りが百三十一名おられます。これらのかたのお名まえは次のとおりです。

90歳以上のかた氏名

- 【百歳】 桜井豊野(下小出町) 大野又一(朝倉町)
- 【98歳】 山田イチ子(総社町植野)
- 【97歳】 天田新五郎(文京町一丁目) 彦坂もと(本町三丁目)
- 【96歳】 渡辺サツ(国領町一丁目) 長谷川小枝(大根町二丁目) 赤石シン(元総社町) 高橋ナツ(幸塚町)
- 【95歳】 阿部善太郎(千代田町一丁目) 畠山いさ(住吉町二丁目) 丸橋かつ(亀泉町) 岡田トミ(川曲町) 宮本ジウ(後閑町) 池田まつ(嶺町)
- 【94歳】 笹沢佐五(上青梨子町) 中林イチ(紅雲町二丁目) 岡庭マツ(上細井町) 目崎さと(朝倉町) 岡せき(二之宮町) 石田ヨウ(南町二丁目) 立見チカ(総社町植野) 内田トヨ(三保町) 飯島とく(後閑町) 片桐キセ(大友町) 飯島クラ(古市町) 西田リカ(城東町三丁目)
- 【93歳】 関野たき(上泉町) 沢渡チヤウ(紅雲町二丁目) 外山すめ(千代田町二丁目) 関野数馬(西善町) 堀越けい(富田町) 下山忠吉(朝日町三丁目) 六本木ぬい(五代町) 渡辺イワ(表町二丁目)
- 【92歳】 小井戸つる(昭和町一丁目) 中沢さわ(下長磯町) 高橋トリ(昭和町一丁目) 鈴木ツネ(西片貝町) 田村辰五郎(青梨子町) 横山カノ(若宮町三丁目) 長崎正平(住吉町二丁目) 高橋けん(城東町四丁目) 小柳ムメ(古市町) 水田ヨイ(住吉町二丁目) 高瀬イセ(池端町) 根岸かね(国領町) 石原こう(千代田町二丁目) 石坂乙松(箱田町) 高橋はな(宮地町) 青木しん(泉沢町) 角田マサ(下細井町) 後藤兼吉(千代田町五丁目) 高橋さく(六供町)
- 【91歳】 木暮マキ(西片貝町) 高橋幸助(総社町植野) 長井サト(箱田町) 鈴木うた(石倉町) 鈴木イキ(表町二丁目) 入沢たね(南町二丁目) 碓井ハル(朝日町二丁目) 石井貞次郎(野中町) 吉田モト(上沖町) 新保為吉(上大山町) 降旗れん(小坂子町) 笠原志(本町一丁目) 中村かん(大手町二丁目) 吉田やふ(泉沢町) 吉原チイ(日吉町二丁目) 関根みち(飯土井町) 奈良つる(朝倉町) 小川ケサ(大友町) 小松ツネ(元総社町) 林志け(大手町一丁目) 郷ヤス(千代田町二丁目) 清

水きやう(表町二丁目) 阿久津よ志(日吉町一丁目) 鈴木せん(表町二丁目) 松倉民造(小坂子町) 山本栄次郎(下沖町) 信沢けん(南町二丁目) 船津ミチ(朝倉町) 橋本エイ(後閑町) 布施川政治(小原町) 平山満(平和町一丁目) 新井さわ(房丸町) 茂木カク(元総社町) 荒木と免(下小出町) 後藤さき(西片貝町)

【90歳】 飯島ちま(荒子町) 福田安五郎(石倉町) 中島いせ(上小出町) 関口みね(城東町一丁目) 高嶋文太郎(国領町二丁目) 藤井みと(下小出町) 高瀬りき(住吉町一丁目) 山崎キク(総社町植野) 細野いわ(宮地町) 牛込きよ(国領町一丁目) 北爪すい(上佐島町) 若山うた(朝日町一丁目) 相沢スイ(文京町三丁目) 星野さわ(総社町)

撲滅に全市民の協力を

アメリカンシロトリ、属に「アメヒト」といわれ、緑の大敵であるこの害虫は、年一回発生、最初の発生を二期(第一世代、第二世代)に二分する。第一世代は、五月下旬から七月中旬、第二世代は八月から九月下旬にかけてです。

ことしの第一世代は、市民のみなさんの協力と、自治会・保健衛生協力会、各農協などのみなさんの徹底防除のおかげで、防除効果をあげることができ、アメヒトの害を最小限に抑えることができました。

ところで、第二世代はアメヒトにとって、来年の繁殖(サナギ)になって越冬)を目標に、猛烈に緑を喰ひ荒らすときです。そして、卵からかえってからの成虫もひじょうに早く、摘みとりの時期をのがし、手遅れになると、もう手が

もし、幼虫の巣などを発見したら、すぐ摘みとりをしましょう。ご家庭で摘みとりを徹底すれば、ほとんど防除ができるのですが、高い木やこみ入った樹木などは見落としがちです。それに、九月はほとんど成虫に達してしまします。この場合は、止むを得ず薬剤防除ということになります。

第二世代の
アメヒト防除作戦

自主防除の徹底を



消毒する場合、個々でやるよりは、地区内を共同で行なうほうがより効果的です。防除班を編成して、いっせいに共同防除を実施してください。

【薬に害をおよぼさないよう注意】 養蚕の時期などで、桑園の近くでの消毒の場合は、桑園の所有者や養蚕組合、農協等とよく連絡し

合って実施しましょう。

なお、アメヒト防除に使う農薬のうち、デブテレックスは薬の効く期間が約二週間、デスが三日間ぐらいです。いろいろな状況を配慮して使いわけてください。

【危険防止には万全の配慮を】 次のことに、じゅうぶん注意しましょう。

①防除の日どりが決ったら、前もって地区内へ連絡を(小鳥・洗たくもの等を戸外へ出さないように)。②子ども、病弱、疲労している人、妊産婦のかたは防除にあたりさわらないこと。③原液をあつかう場合は、ゴム手袋をすること。④散布の場合は、風かみから、散布をしている人に薬がかからないように注意を。また、全員マスクをしましょう。⑤防除が終わったら、顔や手足をよく洗いましょう。⑥終了後、使った薬剤は冷暗室にカギをかけて、厳重に保管しましょう。

注意 事項

第二世代は、薬剤防除が多くなることから「薬剤散布のときの注意事項」についてお知らせし、注意を怠らないよう、じゅうぶん観察してください。

【共同で行なうと効果的】

敬老写真撮影
サービス

前橋写真師会の好意により、市内居(住民登録のしている人)の満七十五歳(明治29年9月16日)から明治35年12月31日までの出生者)のかたが対象に、次のとおり「写真撮影の無料サービス」を行ないます。

【実施期】 9月15日から21日まで。ただし、20日(水)は定休日です。時間は午前10時から午後5時まで。

【実施会場】 前橋写真師会員の店 あいだ写真館(千代田町四丁目) 秋葉写真館(大手町二丁目) 新井定一写真館(千代田町五丁目) 石田写真館(大手町三丁目) ウェノ写真館(住吉町二丁目) 太田写真館(住吉町二丁目) 大貫写真館(千代田町二丁目) 神村写真館(千代田町二丁目) 川田写真館(若神町三丁目) 北爪写真館(江本町) 山水会写真館(千代田町五丁目) シオノフオスタジオ(朝日町三丁目) 須藤写真館(本町二丁目) トイデフオスタジオ(昭和町一丁目) 徳井写真館(千代田町二丁目) トリオ写真館(六供町) 中沢写真館(若宮町三丁目) 中島写真館(住吉町一丁目) なんれい写真館(文京町一丁目) 日英写真館(三河町一丁目) 羽鳥写真館(佐波郡玉村町) フォート水沼(住吉町二丁目) 富士写真館(日吉町二丁目) 前橋スタジオ(本町二丁目) 水沢写真館(駒形町) 宮川写真館(千代田町三丁目) 山田写真館(住吉町一丁目)

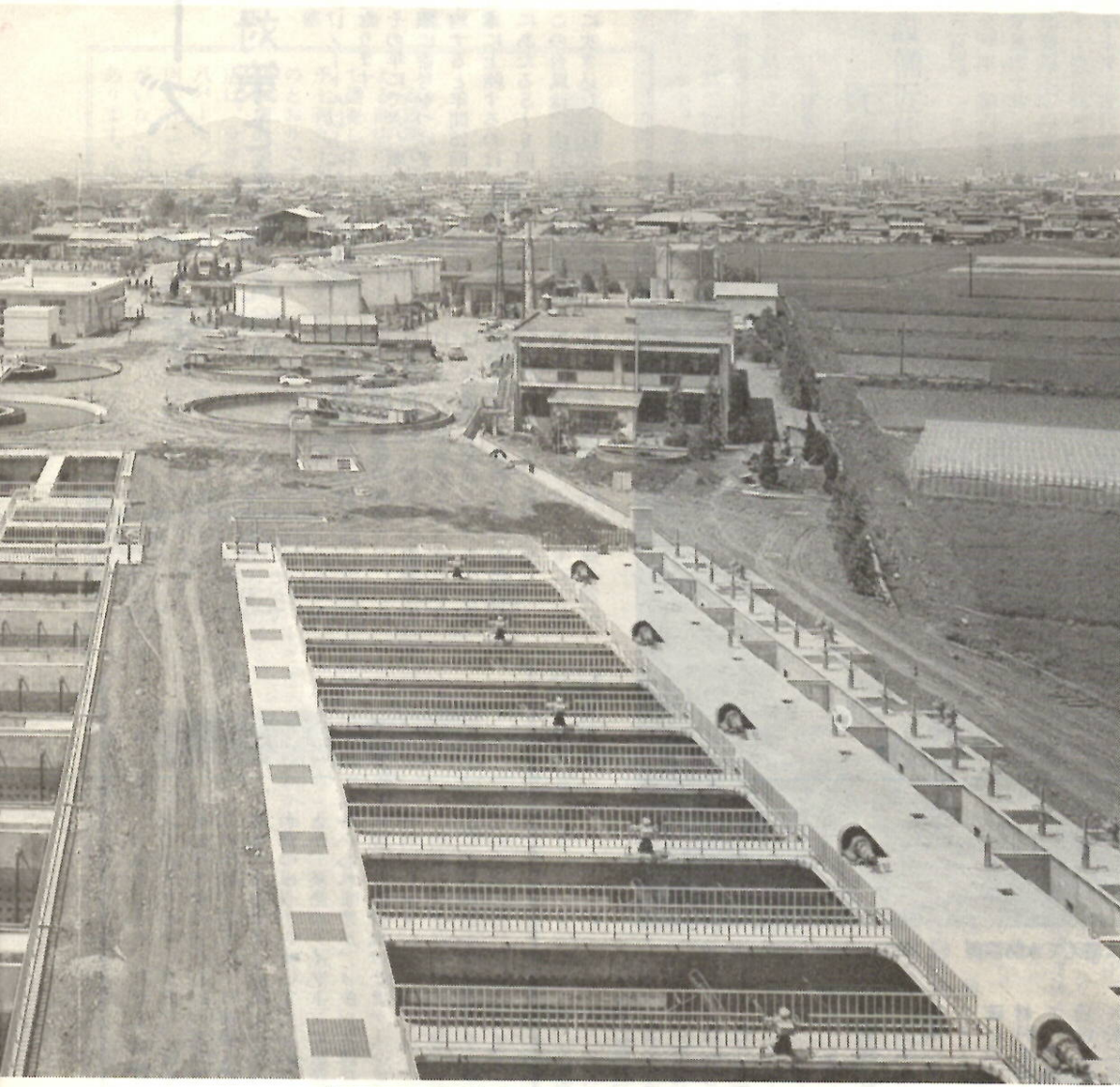
【規格】 カビネ台紙つき一枚を差上げます。

敬老写真撮影
サービス

前橋写真師会の好意により、市内居(住民登録のしている人)の満七十五歳(明治29年9月16日)から明治35年12月31日までの出生者)のかたが対象に、次のとおり「写真撮影の無料サービス」を行ないます。

水をひらく下水道

全国下水道促進デー



「下水道促進デー」は、国・都道府県・市町村・地域住民が一致協力して、水質汚濁などを解消し、健康で快適な生活を約束する「下水道促進世論」を盛り上げる「市民運動の日」です。わが国の経済は大きく発展し、その国民生産は世界第二位といわれています。しかし、「見えない道路」までいわれ、ひじょうに大切な下水道の普及率は、わずか24パーセントで、電気冷蔵庫91パーセント、水道80パーセントにくらべ、あまりにも低く、イギリス・オランダの90パーセント、アメリカの68パーセント、西ドイツの63パーセントの下水道普及率にくらべ、あまりにも立ち遅れているのが現状です。この下水道の立ち遅れが、生活環境を悪化させ、川の水などの問題を起しています。このような事態を一日も早く解消するために、国では、昭和四十六年度を初年度とする総額二兆六千億円の「第三次下水道整備計画」(昭和46年～50年度)を策定し、その達成を目標に、下水道事業の積極的な推進をはかっています。

本市では、昭和二十七年に下水道事業に着手、昭和四十五年までの十九年間に、計画面積一、〇七三七ヘクタールの51パーセントにあたる五五・四ヘクタールの事業を施行してきました。残された49パーセントの区域、五二・〇三ヘクタールは、昭和五十年までに完成する計画をたて、事業をすすめています。これに対応するため、昭和四十六年度に、工事費七億三千万円をかけて、六供町に下水処理施設の増設工事を行ない、ことし六月完成しました。いままでの施設では、処理能力が日量二万トンでしたが、新しい施設では旧施設の二倍、一日四万トンの処理能力があり、旧施設と合わせて一日六万トンの処理ができることになり、処理対象人口は十二万三千人に増加しました。今後の計画では、石倉町を中心とする利根川西部の一部と、三俣町を中心とする広瀬川東部の一部にも事業をすすめるため計画中です。九月十日の「促進デー」を機会に、一日も早く下水道が完備され、快適な生活ができるための「下水道事業の促進」に、みなさんの一層のご協力をおねがいいたします。

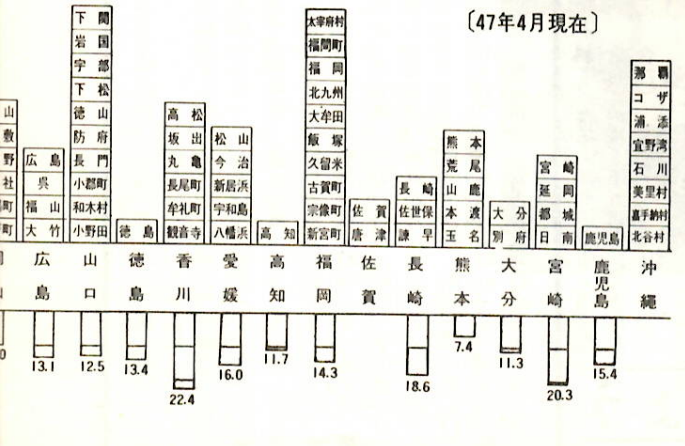
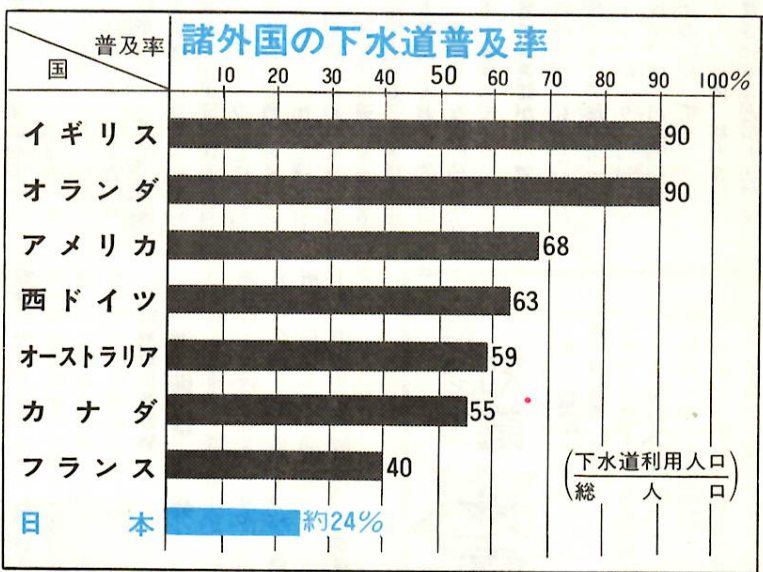
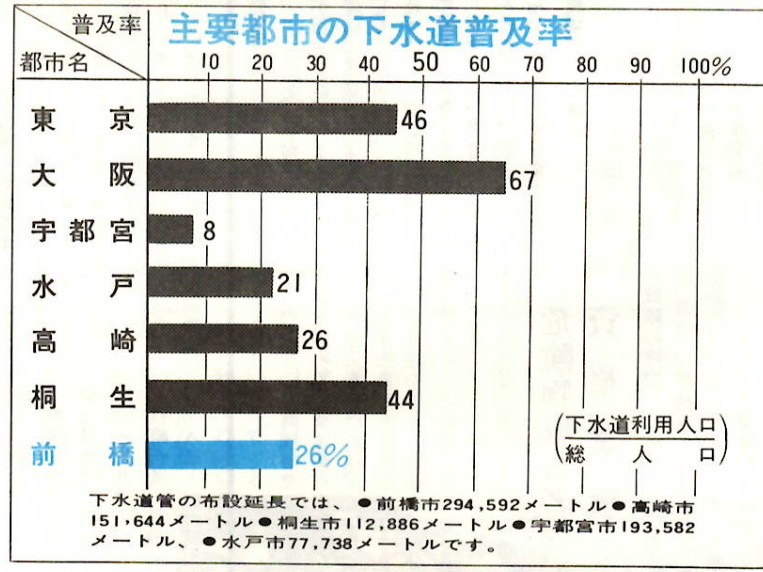
なお、市では「下水道促進デー」の行事のひとつとして、六供町の下水処理場と天川町の中継ポンプ場を、九月七日から十三日(日曜日を除く)まで、市民のみなさんに公開します。おさそい合ってご覧ください。——(このページの統計等は、建設省下水道部・厚生省環境整備課・日本下水道協会・日本水道新聞社の共同編集による資料によりました。)

新施設紹介

六供下水処理場

■あたらしく増設された下水処理施設は七億三千万円をかけてことし六月に増設された施設で、一日六万トン処理対象人口は十二万三千人となりました。

▽最初沈殿5池——処理場に送られてきた下水から、沈殿した固形物を取りのぞきます。

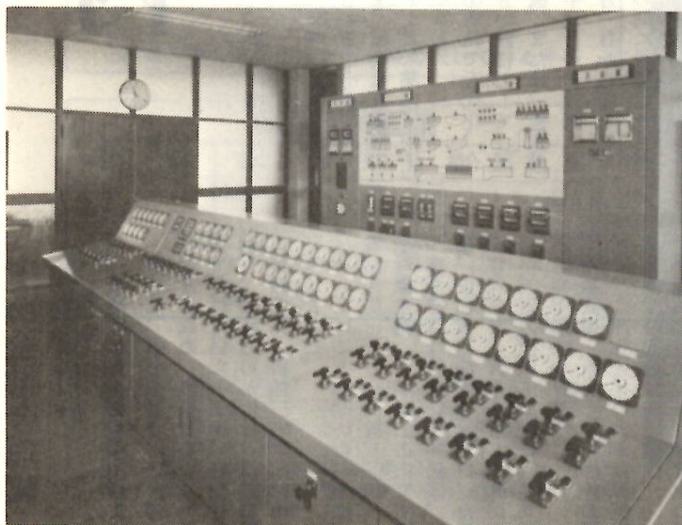
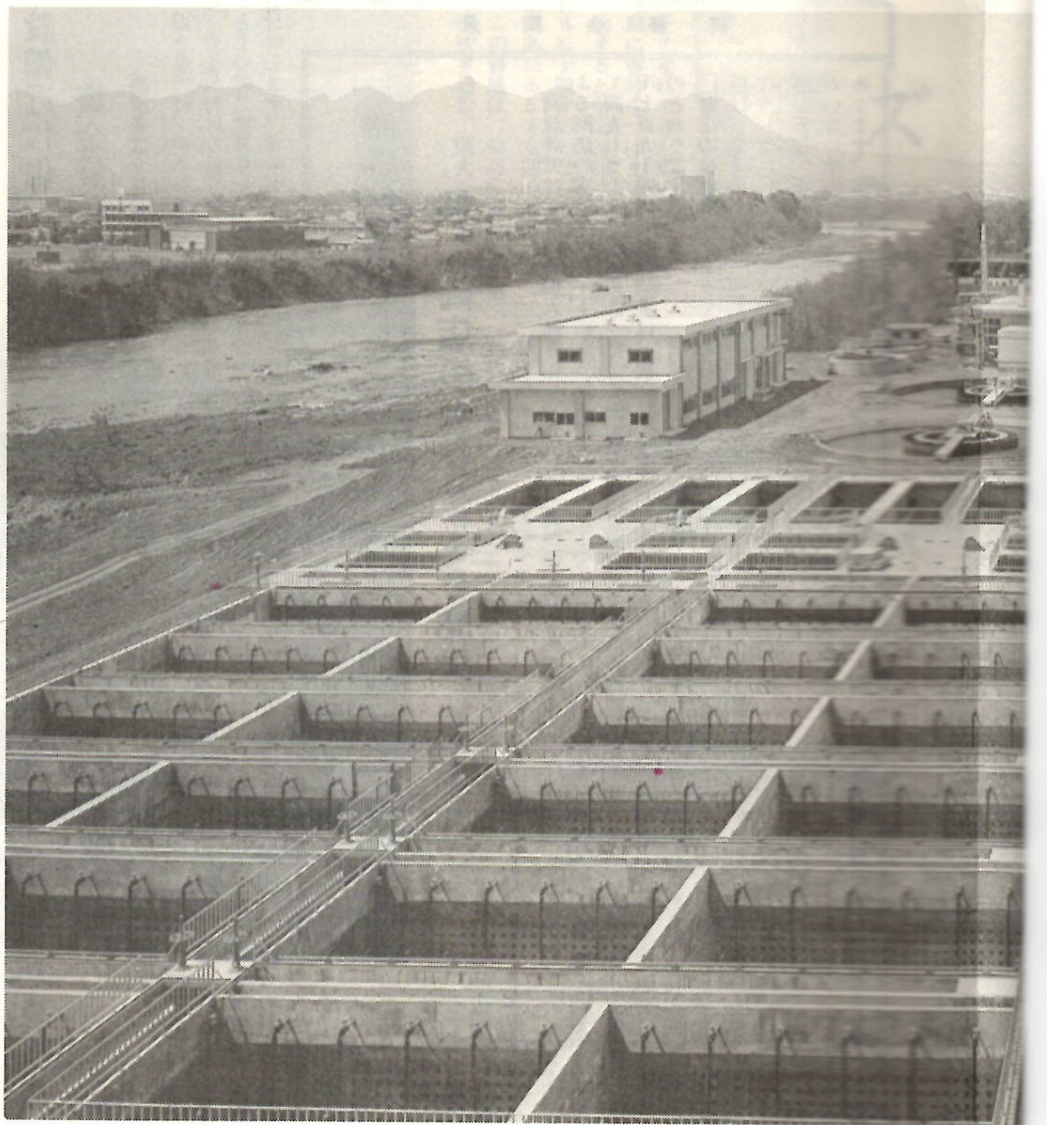


公共下水道とテレビなどの普及率比較

普及率 種 目	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100%
電気洗濯機										93.6%
電気冷蔵庫										91.2%
水 道										80.8%
カラー・テレビ										42.3%
乗 用 車										26.8%
公共下水道										24%

生活の未来

9月10日 第2回



中央操作室

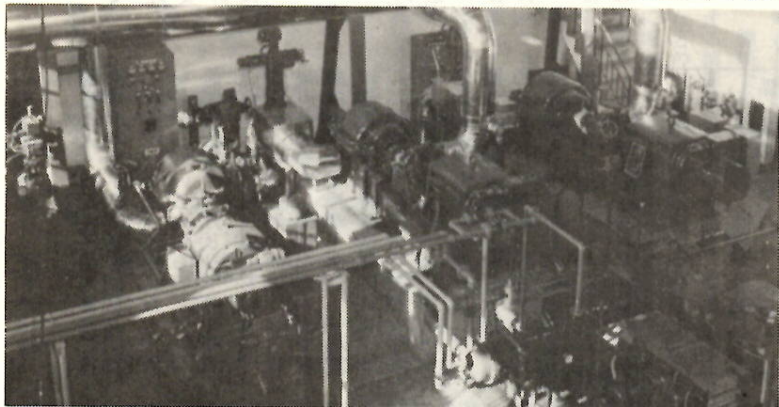
この部屋で、下水道施設全体の運転・操作をボタンひとつで集中管理します。

六供下水処理場の全景

手前が増設された施設、沈殿池などその上が旧施設。左を流れているのが利根川。

汚水ポンプ設備

沈砂池から下水を沈殿池に揚水する大型ポンプ



水洗便所へ改造

市で20回分納の奨励工事で

水洗便所のできる区域に住んでいる人は、くみとり便所を水洗便所に改造しなければならないときめられ

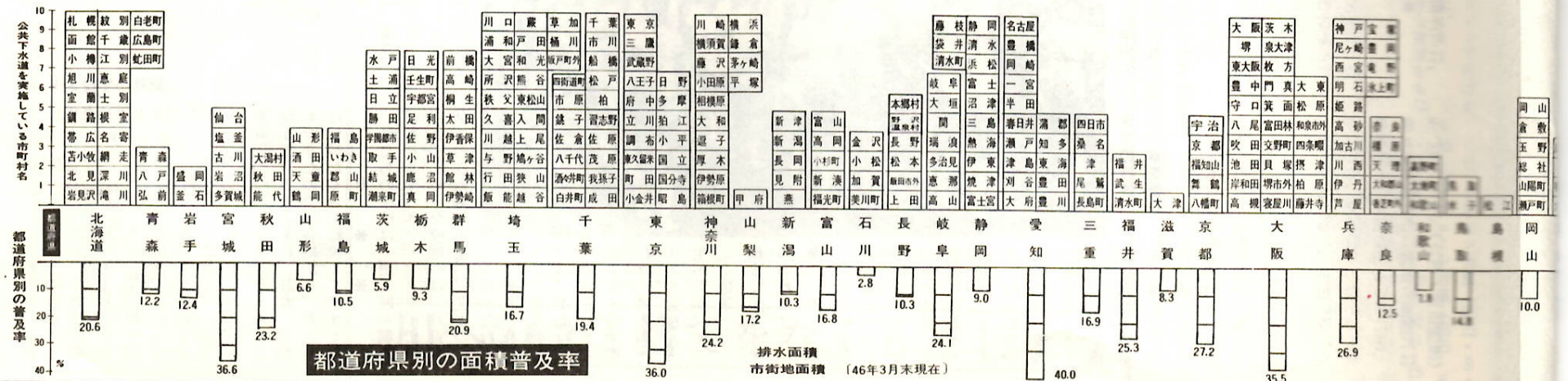
ています。ただ、区画整理区域の人に限り、三年以内に必ずしも改造しなくてもよいことになっています。市では、くみとり便所を水洗便所に改造する人たちのために、工事費の二十か月分納による奨励工事をすすめています。工事費は、一般家庭向きのもので、排水管が六メートル、給水管が十メートル、便器、タンク、付属金具、床板のとりかえ、便所の埋め立てを含めて約八万五千元かかります。工事の申込みは、お近くの指定業者に直接申し込んでください。書類の手続きから施行まで、いっさいを業者がしてくれます。



大手町に中継ポンプ場

ことし六月完成

殿した固形物を取りのぞきます。▽エアレーションタンク4池——最初沈殿池から流れてきた下水に、好気性微生物と空気を加えてかくはんし下水の中の有機物と微生物の働きによって、沈殿しやすい汚泥とし最終沈殿池に送ります。▽最終沈殿池4池——ここで下水を上流と汚泥に分け上流は放流して利根川に放流、汚泥は最初沈殿池やエアレーションタンクに送り返します。▽その他の施設——汚水ポンプ、消泡ポンプ、汚泥濃縮汚水脱水、配管などの設備があります。



市民文化財めぐり 城南の二子山など

9月17日・東部コース

文化財愛護と文化財の正しい理解をたかめることを目的に、恒例の文化財めぐりを、九月十七日(日)実施します。

今回は東部コースとして、城南の二子山、大室城跡、石山観音などをめぐります。

朝八時二十分までに中央公民館へ集合、八時半出発、県指定史蹟大胡城跡、県指定史蹟二子山、大室城跡、石山観音などをめぐります。

対象は市内在住の一般市民(ただし幼児・小学生を除く)で、先着百人までです。

申し込みは九月十一日(月)十二日(火)前橋市中央公民館(大手町三丁目15番3号)へ直接お出かけのうえ申し込みください。参加証を交付します。午前八時三十分から申し込みの受付を開始しますが、前回は希望者が多く一時間は申し込みができませんでした。早目に申し込みください。

小雨決行、昼食は各自でご持参ください。歩くところもあります。なお、希望者が多いので、以前に、この方面の史跡めぐりに参加された人は、ご遠慮ください。

自転車の安全な乗りかた初級検定

正しい交通法規を覚え、安全な運転技術を身につけて、おそろしい交通事故から、あなたを守りましょう。指導と練習日は、九月九日(土)午後二時～四時まで。検定日は、九月十日(日)午前九時～十一時三十分まで。対象は、小学校4・5・6年生50名とし、希望者は、九月二日(土)～八日(金)までに来館するか電話24局二五四八で申し込みください。自転車はセンターで用意します。

科学映画・NHK記録映画会

九月十七日(日)午後一時～三時まで、鳥の育ちかた、ガスの正しい使いかた、雨の日、交通信号などを上映します。参加は自由ですが、定員百名です。早めにおでかけください。

子どもレコード・コンサート

九月十七日(日)午後三時～四時まで、ピアノのひとりごと、おとめの祈り、ラ・カンパネラほか。

物理教室

九月二十四日(日)午後一時～三時まで、「ストロボを使って、落下のようす、斜面の玉のころがるようすを調べよう」。対象は、小学校6年～中学生30名。申し込みは九月十六日～二十一日まで。講師は、二子の長井伝八さん。当日は、筆記用具をお持ちください。

生物教室

児童文化センター だより

九月十七日(日)午後一時～三時まで、「いろいろな花の花粉を顕微鏡で調べよう」。対象は、小学校4年～中学生40名。申し込みは、九月八日～十四日まで。講師は、細井小学校の篠原豊さん。当日は、筆記用具といろいろな花粉をお持ちください。

親子理科教室

九月十日(日)午後一時三十分～三時三十分まで、「いろいろな花の花粉を顕微鏡で調べよう」。対象は、小学校1年～3年生まで親子20組。申し込みは、九月六日～九日まで。講師は、城東小学校の清水功さん。当日は、筆記用具といろいろな花粉をお持ちください。申し込みは直接来館するか電話(24局二五四八)でどうぞ。

特別展

天川小学校・桂東小学校・荒子小学校・元総社中学校の児童生徒図画作品展覧会を九月一日～三十日まで、3階展示室、および各階段パネルに展示する。

天文教室「中秋の名月を眺めよう」

九月二十二日(金)に行ないますが、雨天・曇の場合は、二十四日に順延します。講師は、元総社小の土屋清喜さん。申し込みは、九月十三日～二十一日まで。直接来館するか電話(24局二五四八)でどうぞ。当日用意するもの、三角定規、分度器、中電灯、筆記用具、時計。

三十歳以上 壮年体力 テスト実施

九月十七日(日)午前九時から中川小学校・第六中学校・二宮小学校の各体育館で、三十歳以上六十五歳までの男女を対象に、壮年体力テストを実施します。ふる



写真は昨年の壮年体力テストで

出張青少年相談の 実施について

第三中学校地区と総社地区を対象に、青少年相談を行ないます。なお、相談料は無料です。お気軽にご相談ください。

【日時】九月九日(土)午後一時～五時まで。九月十日(日)午前九時～午後五時まで。

【場所】第三中学校地区(萩町公民館、敷島公会堂) 総社地区(総社公民館)

【相談内容】学校のこと、職場のこと、勉強のこと、進路のこと、家庭のこと、性格のこと、身体のこと、友人のこと、異性のこと、習慣のこと、遊びのこと、世の中のこと、将来のこと、その他なんでも結構です。

○相談は、本人、または父母どなたでも結構です。

博物館文化講座

県立博物館では、市教育委員会・県文化財保護協会等との共催で、県民青少年センターを会場に第三回博物館文化講座を開講、一般学生(高校生以上)・教育関係者の受講を希望しています。

▼期日とテーマ

(日)「群馬の中心」(群馬の中心)「群馬の中心」(群馬の中心)

【講師】国学院大学教授角川源義さんほか専門家三名

▼申し込み 九月六日までに博物館(富岡市一宮二五三三・電話〇二七四六二二・四二二)へ。先着四百人でしめきります。問い合わせもどうぞ。受講料は不要。

スポーツ教室

市教委、市フォークダンス協会主催の初心者を対象としたフォークダンス教室を九月七日から十月二十六日まで毎週木曜日(七回)午後六時～八時半まで県スポーツセンターでひらきます。先着八十名まで(男女各四十名)申し込みはテキスト代三百円を添えて、九月七日までに市体育課(電話32局六五三九)へ。

前橋市民スポーツ祭 第五回フオー クダンス大会

前橋市フォークダンス協会の設立五周年記念をかねて、市民スポーツ祭フオークダンス大会を開催します。参加費は無料です。

【期日】九月十日(日)

【午後一時、受付は十二時三十分】

【会場】中央小学校体育館

【種目】マヨマイム、オクラホマミックス、モダンチカ、ラッキーマックス、その他新曲。

【申込方法】当日直接会場へおでかけください。体育館を使用します。

バドミントン・コース

市教委・市バドミントン協会主催の初心者対象のバドミントン教室を、九月四日～二十日(毎週月・水・金の六日間午後六時～九時)県スポーツセンターでひらきます。市内在住・在勤の一般初心者(高校生以上)で先着百名以内を、九月四日当日会場で受け付けます。で、ふるって参加を。ラケット、上ばき、運動着を持参のこと。



さあ、みんなで 歌おう

総社地区 「おなかの底から大きな声を出して」「みんなであう」「自分の好きな歌をうたおう」こんな呼びかけで、総社公民館を会場に七月から毎月第二、四、六曜日の夜七時半から「みんなであう」という「うたごえ運動」が始まりました。これは「みんなであう」実行委員会(大塚賢一会長)に参加した総社・清里地区の青年有志によって企画されたもので、「青年を中心とした新しい文化運動の芽ばえ」として総社公民館で万全の援助体制。実行委員会のメンバーは、昼間の会社勤めや農作業のあと、同館に集まり、歌集の印刷、ボスター書きなどをやりながら仲間作りの場になっています。青年男女ばかりかおばあちゃんや若いミス、幼児をつれた父親も参加する例会は、ギター伴奏に合わせたフォークをうたい、数々のリクエストもたびたび出され、二時間後はゲームなどもとり入れ、もつとと市広の多くの人たちに参加してもらえようという趣旨で行きたいと、関係者は意欲満々です。

読書・桜井宣子 さんの場合

読書の秋。最近の文庫から、ひとつの「読書論」を紹介しよう。

読書のよさ 東山四年桜井宣子さんは何よりも本が大好きだ。それは本がものしりだから。うちのお母さんは町にいくと本ならばすなり買ってくる。私は本を読んだのでそのよさをいろいろ知った。「本は人間にいろいろな知識を身につけてくれる。物しりにもなる。勉強の手助けにもなる。」「本を熱心に読んでいる時は、いつの間にか物語の中にさそわれてしまふ。かわいそうな物語の時は自然になみだがこぼれてしまふ。また、本は私たちが行ったことのないジャングルにも連れて行ってくれるし、アメリカの国にも、海底にも連れて行ってくれる。私はこんないいものはないと思った。今まで数多くの本を読んだけれども「ああ無情」は困っている人がいたら助け合えばいい。そしてミエリウが「信じている人をうらなうことは罪の重いことだよ。」と言ったことは、私の胸にジーンとひびきました。不幸な人をいたわる気持ちがよくわかった。ペーリーベンの本は誰にも負けないすばらしい根性を教えてくれました。(後略)——東地区子ども会育成団体連絡協議会刊「文集」より

各地の祭り

▼九日 飯玉神社(朝倉町) ▼十日 飯玉神社(朝倉町) ▼十一日 飯玉神社(朝倉町) ▼十二日 飯玉神社(朝倉町) ▼十三日 飯玉神社(朝倉町) ▼十四日 飯玉神社(朝倉町) ▼十五日 飯玉神社(朝倉町) ▼十六日 飯玉神社(朝倉町) ▼十七日 飯玉神社(朝倉町) ▼十八日 飯玉神社(朝倉町) ▼十九日 飯玉神社(朝倉町) ▼二十日 飯玉神社(朝倉町) ▼二十一日 飯玉神社(朝倉町) ▼二十二日 飯玉神社(朝倉町) ▼二十三日 飯玉神社(朝倉町) ▼二十四日 飯玉神社(朝倉町) ▼二十五日 飯玉神社(朝倉町) ▼二十六日 飯玉神社(朝倉町) ▼二十七日 飯玉神社(朝倉町) ▼二十八日 飯玉神社(朝倉町) ▼二十九日 飯玉神社(朝倉町) ▼三十日 飯玉神社(朝倉町)

全市いっせいに住民実態調査

9月15日現在で実施

住民基本台帳(住民票)は、市民みなさんの住所を、公に証明するとともに、選挙人名簿への登録および、いろいろな予防接種、結核検診等各種の福祉対策や行政事務など、市民みなさんの生活に直接関係する事務の基礎となるたいせつな台帳です。

市では、この住民基本台帳に、みなさんの実態が、いつも、正しく登録されているように、九月十五日現在で調査を行います。この調査の方法は、市から各町内の自治会役員さんを通じて「調査カード」を、みなさんのお宅に、おくばりし、同一世帯全員について記入していただきます。

なお、この「調査カード」は、九月六日から十四日まで、みなさんのお宅におくばりします。記入していただいた「調査カード」は、九月十五日ごろから回収し、住民基本台帳(住民票)と照合します。

くわしい記入要項は「調査カード」と一緒に「調査カード」におくばりしますが、「調査カード」に記入していただく事項は、次のとおりです。

①世帯主氏名とふりがな。②家族の氏名と、ふりがな。③男女の別。④世帯主との続柄。⑤生年月日。⑥職業。⑦自宅の電話番号または、有線番号。⑧結核検診(レントゲン)を受ける場所。⑨町内事業所の別。

○「実態調査」についての問い合わせは、市役所市民課住民実態調査本部(電話24局一〇一内線三四二または、城南支所住民課電話68局二一三)へ。

□いま住んでいるところに、住民登録をしていない人は、法に定める届出を、市役所市民課、または、城南支所の窓口に出していただきます。

旧市域 ハカリの定期検査

9月11日から各町内で

四十七年度のハカリの定期検査を旧市域を対象に行ないます。該当者は、「ハカリ」を取引上および証明上の計量に使っている方で、具体的には①商店、工場などで営業用に用いているハカリ②病院、薬局などで用いている調剤用のハカリ③病院、保健所、学校などで用いている身体検査用のハカリ④官公庁で用いている納品検収用、自動車検収用のハカリ、が対象となります。

□計量器定期検査日程

9月11日 西岩神町公民館(若神町一丁目・二丁目・三丁目・四丁目、緑が丘町、敷島町)

9月12日 向町公民館(雷電神社境内(平和町一丁目・二丁目) 9月13日 天川小学校(文京町一丁目・二丁目・三丁目・四丁目 天川原町)

9月14日 城南小学校(南町一丁目・二丁目・三丁目・四丁目・六供町)

9月18日 堀川会館(表町一丁目・二丁目)

9月19日 堀川会館(本町一丁目・二丁目)

9月20日 昭和町公民館(昭和町一丁目・二丁目・三丁目)

9月21日 琴平会館(住吉町一丁目・二丁目)

9月22日 国領町公民館(若宮町一丁目・二丁目・国領町一丁目 9月25日 国領町公民館(若宮町三丁目・四丁目・国領町二丁目 日吉町四丁目)

9月26日 城東町三丁目会館(城東町三丁目・四丁目・五丁目)

9月27日 市立女子高校(城東町一丁目・二丁目・日吉町一丁目 二丁目・三丁目)

9月28日 中川小学校(朝日町一丁目・三河町一丁目・本町一丁目)

9月29日 中川小学校(朝日町二丁目・三丁目・四丁目、三河町二丁目)

10月2日 市役所内計量検査所(千代田町二丁目・四丁目、大手町三丁目)

10月3日 市役所内計量検査所(千代田町一丁目・三丁目・五丁目)

10月4日 市役所内計量検査所(大手町一丁目・二丁目・本町一丁目)

各種相談

■母子健康相談

9月8日(金) 芳賀、桂、南橋、永明各公民館 9月13日(水) 東、元総社、清里各公民館、広瀬団地第三集会所。9月14日(木) 南町四丁目公民館。9月14日(木) 総社公民館。9月25日(月) 朝倉団地下川淵、中石倉各公民館、駒形会館。

○各会場とも、午前10時から午後3時まで。家族計画相談も行ないます。

■保健所の健康相談

①乳幼児健康相談は、第一・第二金曜日、午前9時～11時まで。第三金曜日、午前9時～11時まで。午後1時～3時まで。内容は、問診、身体計測、診察、保健指導など。希望者には、フェニールケトン尿症の検査も行ないます。②一般健康相談は、毎週月曜日、午前9時～11時まで。③療養相談は、毎週水曜日、午前9時～11時まで。④医師会の育児相談

9月13日(水)・27日(水) 群馬マデカルセンター3階育児相談室で、乳児を対象に健康診断、栄養指導、生活指導を行ないます。

○受付時間は、午後1時30分～3時30分まで。

■心配ごと相談

今月は、1日・8日・22日・29日(金)の午後1時から4時まで前橋市母子福祉センターで行ないます。

■花富満二十五株 桐生市広沢町五丁目一、四八〇、堀越源司さんから公園植栽用に。

■現金千円 緑が丘町須藤泰子さんから原爆被災者見舞金にと。

■雑布八十枚・タオル二十本 大手町一丁目第二寿慶会から。

■現金五万円 石倉町二六、野村徳治さんから、給水工事費の一部として。

採用初級試験

47年度市職員

昭和四十七年度の職員採用初級試験を次のとおり行ないます。

▽職種及び採用予定人員

①事務A(一般行政事務を補助する職務で、男子に適する職務) 約三十名

②事務B(一般行政事務を補助する職務で、女子に適する職務) 約十名

③土木・建築(技術的業務を補助する職務で男子に適する職務) 各若干名

●受験資格

前橋市内に居住する人(土木・建築の受験者については、当市役所までの通勤時間が、片道おむね一時間以内の地域に居住する人を含みます。)で、昭和二十四年四月二日から、同三十年四月一日までに生まれた人。学歴は問いません。

●試験方法と日程

□第一次試験 十月十五日(日)午前九時から、市立工業短大で。

①教養試験 試験区分に關係なく、共通の試験問題により、初級公務員として必要な一般教養知識および知能について、高等学校卒業程度で、多岐選択式による筆記試験を行ないます。

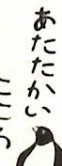
②専門試験(土木・建築) 各試験区分に応じた専門的知識および能力について、高等学校卒業程度で、多岐選択式による筆記試験を行ないます。

③適性検査 職員として必要な適性を有するかどうかについて検査します。

□第二次試験 第一次試験の合格者に対して、筆記試験(常識問題)口述試験、作文試験および身体検査を行ないます。

●申し込み手続き

次のとおり市職員を募集します



あなたにかいこころ

伝説とその付近

山刀切薬師(小屋原町)

(81)



本瀬村郷土誌によりますと「小屋原の泉蔵寺にあり、昔悪疫流行した時、弘法大師が山刀(なた)をもって石を刻み、薬師像をつくって静めてくれたという」とあり、また、同誌に「鉈(なた)切薬師は、延暦年中(七八一八〇二)に一老僧が来て山刀をもって石を刻んだ、その形は、薬師如来で眼病を治すの効驗があると伝えられる」とあります。

そこでこの山刀切薬師をたずねてみることにしました。

駒形町の十字路を北に進め、しばらく進み、すく、両毛線の踏切りがあり、右が駒形駅です。この踏切りを渡ると小屋原町です。

右に左にと道を歩みながら、やうやくの薬師様をたずねて、四十六年七月に改築されたもので、堂内には高さ一メートルほどの仏像があります。木像です。この伝説とは違いますが、草深い中、この石仏があらわれました。高さ七〇センチ、幅六〇センチほどのものです。

付近の布施川さんにご案内いただきお伺いします。

「この石仏がそうだとわかって、だいたいこの付近を薬師山といまして、泉蔵寺は薬師山といったので、それから関係があるんでしょうね」

そういえば、お堂の前に「薬師山」と刻まれている石(たらい)があり、その五・六メートルほど東には一メートルほどの四角い井戸のようなものもあり、「清泉」と彫ってありました。

「かつてのお堂、は八畳一間もあり、回廊下もありましたから、いぶん大きかったんですね。毎年七月七日には、縁日でしたが、最近では十七日になっています。そりゃたいした賑わいでしたよ。眼の悪い人は願をかけます。十二個の胡麻団子(こまだんご)をあけたり、「め」の字の額、卯月弓などを奉納します。まあその賑わいは下増田に千足橋という橋がありますが、縁日にこの薬師様を参拝する人が、みんなわらわらと買ったところを、いわれ、千足もわらわらと売れたというところからその名がでたといひますよ」

郷土誌にも「享保年間より特に信者が多く、連日連夜参詣人が後を絶たず、明治三十五年ごろが最も繁盛した」と記されています。

泉蔵寺については、建仁年間(一一〇一三三)蓮性法印開基、地蔵堂といわれ、享保(一七一六)一七三五年間、後醍醐天皇山世尊院泉蔵寺となったといひます。また、はじめは先祖寺といひ、その後泉蔵寺と改めたともいわれています。

それにしてもこの石仏は、弘法大師のほれた石仏が全国に三つあるそうですが、その一つだといひられています。知るが知らず、石仏をかかえ込むように立つ杉とひのきの木二本がなにかを語りかけてくれます。

【写真は、弘法大師が刻んだといわれる石仏】